

口腔外科学第二講座
(Second Department of Oral and Maxillofacial Surgery)

教育研究原著論文

1) 印刷公表

1. Watanabe M, Ohnishi Y, Inoue H*, Wato M, Tanaka A, Kakudo K, Nozaki M*². NANOG expression correlates with differentiation, metastasis and resistance to preoperative adjuvant therapy in oral squamous cell carcinoma. *Oncol Lett* 2014 ; 7(1) : 35–40.
2. Watanabe M, Ohnishi Y, Wato M, Tanaka A, Kakudo K. SOX4 expression is closely associated with differentiation and lymph node metastasis in oral squamous cell carcinoma. *Med Mol Morpho* 2014 ; 47(3) : 150–155.
3. 大西祐一, 渡辺昌広, 川植康史*³, 覚道健治. マウス ES 細胞由来神経堤前駆細胞からの骨分化誘導. *日本口腔インプラント学会誌* 2014 ; 27(1) : 35–41.
4. Kondo M, Nakata K*⁴, Kakudo K. Celecoxib down-regulates mechanically induced ADAMTS-4 gene expression in 3D cultured tissue of human synovium-derived cells at lower concentration than indomethacin. *J Osaka Dent Univ* 2014 ; 48(1) : 55–59.
5. Kubo H, Yatani S, Nishio A, Nakajima A, Ioku Y, Fujii T, Mori Y, Gotoh M, Yoshimoto H, Ohnishi Y, Kakudo K. Clinicostatistical evaluation of synovial chondromatosis affecting the temporomandibular joint. *J Osaka Dent Univ* 2014 ; 48(1) : 61–66.
6. Fujii T, Kakudo K, Tanaka M. Effect of temporomandibular joint sensory receptor on functional jaw movements following intra-articular anesthesia during gum-chewing. *J Osaka Dent Univ* 2014 ; 48(1) : 67–73.
7. Ohnishi Y, Minamino Y, Kakudo K, Nozaki M*². Resistance of oral squamous cell carcinoma cells to cetuximab is associated with EGFR insensitivity and enhanced stem cell-like potency. *Oncol Rep* 2014 ; 32(2) : 780–786.
8. Ohnishi Y, Watanabe M, Wato M, Tanaka A, Kakudo K, Nozaki M*². Cyclin D1 expression is correlated with cell differentiation and cell proliferation in oral squamous cell carcinomas. *Oncol Lett* 2014 ; 7(4) : 1123–1127.
9. 大西祐一, 渡辺昌広, 安井大樹, 藤井智子, 井上洋士*, 吉本 仁, 窪 寛仁, 赤根昌樹*⁵, 覚道健治. 口腔扁平上皮癌細胞の増殖におけるセツキシマブの影響. *歯科医学* 2014 ; 77(2) : 59–65.

2) 学会発表

1. 渡辺昌広, 大西祐一, 和唐雅博, 田中昭男, 覚道健治. 口腔扁平上皮癌における Nanog の発現と分化および頸部リンパ節転移に関する分析. 第 32 回日本口腔腫瘍学会総会・学術集会 2014. 1. 23 札幌市.
2. 西村元彦, 鳥井克典, 川原幹夫, 谷本啓彰, 護邦英俊, 蠅庭秀也, 上野美奈, 福澤美智子, 岸本篤子, 篠永ゆかり, 大久保 直, 松本和浩, 林 宏行, 覚道健治. 歯科大学附属病院における義歯修理時の義歯消毒の遵守率向上への取り組み. 第 29 回日本環境感染学会総会・学術集会 2014. 2. 14 東京.
3. 後藤基宏, 山田龍男*, 赤峯勇哲, 森 悠衣, 窪 寛仁, 覚道健治. 閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置治療における効果不良例に対する検討. 第 68 回日本口腔科学学会学術集会 2014. 5. 9 東京.
4. 大城庸嘉, 吉田博昭, 覚道健治, 清水谷公成, 森田章介. 習慣性顎関節脱臼に対する顎関節部への自己血注入による低侵襲療法術後の MRI 解析による有意差検定について. 第 68 回日本口腔科学学会学術集会 2014. 5. 9 東京.
5. 中島章宏, 尾崎健太, 正重裕一, 中嶋正博, 覚道健治. 歯槽骨に及ぼすテンポラリーアンカレッジデバイスを用いた牽引力の影響. 第 24 回日本顎変形症学会総会・学術大会 2014. 6. 10 福岡市.
6. 安井大樹, 大西祐一, 渡辺昌広, 覚道健治. ヒト口腔扁平上皮癌細胞株における sulfasalazine の影響. 第 38 回日本頭頸部癌学会 2014. 6. 12 東京.
7. 蠅庭秀也, 野木弥栄, 篠永ゆかり, 谷本啓彰, 上中清隆, 松本和浩, 大久保 直, 山本一世, 森田章介, 覚道健治. 大阪歯科大学附属病院における 2009~2013 年の抗菌薬使用状況 - 抗菌薬適正使用を推進するために -. 第 34 回日本歯科薬物療法学会学術大会 2014. 6. 21 大阪市.
8. 森 悠衣*⁶, 後藤基宏, 窪 寛仁, 岩崎春美, 覚道健治, 秋山広徳, 四井資隆, 清水谷公成. 顎関節滑膜軟骨腫症の早期診断における MR 画像の有用性. 第 27 回日本顎関節学会総会・学術大会 2014. 7. 19 福岡市.
9. Yoshimoto H, Nakajima M, Ohnishi Y, Kubo H, Haeniwa H, Gotoh M, Horii K, Sjojyu Y, Kakudo K. Influence of diagnosis to treatment interval in the prognosis of oral squamous cell carcinoma. 96th American Association of Oral and Maxillofacial Surgery 2014. 9. 11 Honolulu, Hawaii, USA.
10. Kakudo K, Kubo H, Fujii T. Newly concept of the limited mouth opening disorder : clinical characteristics and diagnosis of patients with masticatory muscle tendon-aponeurosis hyperplasia. 96th American Association of Oral and Maxillofacial Surgery 2014. 9. 11 Honolulu, Hawaii, USA.
11. Kubo H, Yoshimoto H, Gotoh M, Ohnishi Y, Kakudo K, Nishio A. Clinicostatistical evaluation of synovial chondromatosis affecting the temporomandibular joint. 96th American Association of Oral and Maxillofacial Surgery 2014. 9. 11 Honolulu, Hawaii, USA.
12. Ioku Y, Haeniwa H, Kakudo K. Effect of β -tricalcium phosphate and porous hydroxyapatite bone substitutes on bone regeneration in alveolar bone defects around dental implants. 96th American Association of Oral and Maxillofacial Surgery 2014. 9. 11 Honolulu, Hawaii, USA.

13. Nakajima A, Nakajima M, Syoju Y, Kakudo K. The effect of tractive force using a temporary anchorage device (screw type) on the alveolar bone-Stress Analysis using the Three-Dimensional Finite Element Method-. 96th American Association of Oral and Maxillofacial Surgery 2014. 9. 11 Honolulu, Hawaii, USA.
14. Gotoh M, Nakajima M, Ohnishi Y, Kubo H, Haeniwa H, Horii K, Yoshimoto H, Syoju Y, Kakudo K, Ugaki Y. A study on the usefulness of endoscopy to oral appliance therapy in obstructive sleep apnea. 96th American Association of Oral and Maxillofacial Surgery 2014. 9. 11 Honolulu, Hawaii, USA.
15. Nishio A, Kubo H, Hashimoto Y, Kakudo K. Comparison of chondrocyte differentiation ability using three-dimensional culture in an atelocollagen sponge on dedifferentiated fat cells and adipose-derived stem cells from the human buccal fat pad. 96th American Association of Oral and Maxillofacial Surgery 2014. 9. 11 Honolulu, Hawaii, USA.
16. 金銅真世, 岡本知子, 矢谷真也, 覚道健治. 三次元培養ヒト滑膜炎モデルにおける MMPs 遺伝子発現に及ぼす抗炎症薬の影響. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014. 10. 17 千葉市.
17. 西尾謙宏, 窪 寛仁, 覚道健治. ヒト頬脂肪体由来の DFAT cells と ASCs の 3 次元培養による軟骨分化能の比較. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014. 10. 17 千葉市.
18. 藤井智子, 濱田真智, 矢谷真也, 後藤基宏, 蠅庭秀也, 窪 寛仁, 大西祐一, 覚道健治. 咀嚼筋腱・腱膜過形成症患者での咀嚼筋の筋活動量と咬合力に関する解析: 術前後の比較. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014. 10. 17 千葉市.
19. 岡本知子, 矢谷真也, 金銅真世, 赤峯勇哲, 室井悠里, 覚道健治. ヒト滑膜三次元培養組織への繰り返し力学負荷における発現遺伝子の時間的経過. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014. 10. 17 千葉市.
20. 覚道健治. 安全, 確実な顎関節腔穿刺のスキルとスプリント調整法. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014. 10. 18 千葉市.
21. 大西祐一. 下顎枝矢状分割法 - 基本手術手技と臨床解剖 -. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014. 10. 18 千葉市.
22. 井奥雄介, 蠅庭秀也, 覚道健治. 骨再生過程に及ぼす β -TCP およびハイドロキシアパタイト骨補填材の影響. 第 59 回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014. 10. 18 千葉市.
23. 西尾謙宏, 窪 寛仁, 岸本直隆, 橋本典也, 覚道健治. アテロコラーゲンスポンジを用いたヒト頬脂肪体由来の脱分化脂肪細胞と脂肪幹細胞の軟骨分化. 第 545 回大阪歯科学会例会 2014. 10. 18 枚方市.
24. 中島章宏, 中嶋正博, 正重裕一, 覚道健治. 歯槽骨に及ぼすテンポラリーアンカレッジデバイス (スクリュータイプ) を用いた牽引力の影響 - 三次元有限要素法による力学解析 -. 第 545 回大阪歯科学会例会 2014. 10. 18 枚方市.
25. 覚道健治. 口腔リハビリテーション学と歯科保存学との連携について. 第 141 回日本歯科保存学会 2014 年度秋季学術大会 2014. 10. 30 山形市.

26. 山下順司*7, 山口貴史*7, 覚道健治. 訪問歯科診療における誤嚥・誤飲の危険性と対策について. 第28回日本口腔リハビリテーション学会学術大会 2014. 11. 24 大阪市.

臨床症例報告

1) 印刷公表

1. Gotoh M, Ohnishi Y, Kubo H, Yamamoto H, Wato M, Morita S, Kakudo K. A case of schwannoma in the parotid -massetric region. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 2014 ; 26(1) : 92-95.
2. 濱田真智, 中嶋正博, 室井悠里, 正重裕一, 大西祐一, 覚道健治. 外傷性顎関節強直症に対し口内法による顎関節授動術を施行した1例. *日本顎関節学会雑誌* 2014 ; 26(2) : 114-119.
3. Ohnishi Y, Sugitatsu M*, Watanabe M, Fujii T, Kakudo K. Metastasis of mesothelioma to the maxillary gingiva. *Oncol Lett* 2014 ; 8(3) : 1214-1216.
4. Ohnishi Y, Watanabe M, Fujii T, Yasui H, Kubo H, Kakudo K. Infiltrating angiolipoma of the lower lip : A case report and literature review. *Oncol Lett* 2014 ; 9(2) : 833-836.

2) 学会発表

1. 覚道健治. 顎関節への外科的処置におけるコツと工夫. 第2回日本顎関節外科研究会 2014. 5. 10 東京.
2. 山田耕治, 正重裕一, 中島章宏, 姫嶋皓大, 松島由紀, 福田あおい, 中嶋正博, 覚道健治, 森田章介. オトガイ形成術後に口底浮腫を併発した2例. 第24回日本顎変形症学会総会・学術大会 2014. 6. 10 福岡市.
3. 後藤倫子, 正重裕一, 中島章宏, 大西祐一, 中嶋正博, 覚道健治. 顎位の不安定を伴った骨格性下顎後退症の1例. 第24回日本顎変形症学会総会・学術大会 2014. 6. 10 福岡市.
4. 水野成葉, 奥 佳葉, 中島章宏, 正重裕一, 中嶋正博, 覚道健治. 大理石骨病が疑われた下顎隆起に対して骨瘤除去術を施行した一例. 第45回日本口腔外科学会近畿支部学術集会 2014. 6. 21 橿原市.
5. 井上洋士*, 杉立光史*, 本橋具和*, 山田龍男*, 藤岡香代子*, 大岩直子*, 森本倫子*, 吉田ゆかり*, 杉岡奈緒*, 井上侑香*, 野井実親*, 覚道健治. 智歯抜歯中断の歯の残遺により下顎骨骨髓炎が生じた1例. 第45回日本口腔外科学会近畿支部学術集会 2014. 6. 21 橿原市.
6. 原弓加里, 前田照太, 土居 聖, 有家 巧*8, 覚道健治, 岡崎定司. 重度のブラキシズムによる著しい咬耗を有する患者に筋突起切除術を施行し咬合再建を行った1症例. 第27回日本顎関節学会総会・学術大会 2014. 7. 19 福岡市.
7. 後藤基宏, 伊達岡聖, 森 悠衣, 窪 寛仁, 岩崎春美, 福田あおい, 井関富雄, 森田章介, 覚道健治, 伊達岡聖. 閉口末期の閉口障害を伴う顎関節症8例の臨床的検討. 第27回日本顎関節学会総会・学術大会 2014. 7. 19 福岡市.

8. 渡辺昌広, 赤峯勇哲, 藤井智子, 後藤基宏, 大西祐一, 覚道健治. ミュンヒハウゼン症候群を疑った顎関節開放剥離授動術後感染の1例. 第27回日本顎関節学会総会・学術大会 2014. 7. 19 福岡市.
9. 濱田真智, 岩崎春美, 窪 寛仁, 藤井智子, 大西祐一, 覚道健治. 顎関節症と鑑別が困難であった咀嚼筋腱・腱膜過形成症の1例. 第27回日本顎関節学会総会・学術大会 2014. 7. 19 福岡市.
10. 井上洋士*, 杉立光史*, 本橋具和*, 山田龍男*, 藤岡香代子*, 大岩直子*, 川村倫子*, 井上侑香*, 覚道健治. 巨大な腐骨形成を伴うビスフォスフォネート製剤によると考えられた上顎骨壊死の1例. 第59回日本口腔外科学会総会・学術大会 2014. 10. 18 千葉市.
11. 有山誠人, 後藤倫子, 吉本 仁, 大西祐一, 覚道健治. 上顎小白歯部に発生した中心性菌原性繊維腫の1例. 第26回日本口腔科学会近畿地方部会 2014. 12. 6 京都市.

総説

1. 覚道健治, 窪 寛仁. 顎関節症に対して外科的アプローチはどのようなときに必要か. 日本歯科評論 2014; 74(1): 75-80.
2. 覚道健治. 顎関節. サンケイスポーツ新聞 2014; (11): 22.
3. 有本博英*⁹, 覚道健治. 歯科矯正治療における技術革新と顎変形症治療におけるパラダイムシフト - 顎変形症治療におけるミニマルインターベンション -. 日本顎変形症学会雑誌 2014; 24(4): 285-297.
4. 覚道健治. 大阪歯科大学口腔外科学第一講座および口腔外科学第二講座の歴史の変遷と口腔外科関連の活動. 日本口腔外科学会創立八〇周年記念誌 2014: 73-77.

著書

1. 覚道健治, 窪 寛仁. 共著. 薬'15/16. 東京: クインテッセンス出版 2014: 140-143.

* 大阪赤十字病院歯科口腔外科
*² 大阪大学微生物病研究所細胞機能分野
*³ 川植歯科医院
*⁴ 大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学(整形外科学)
*⁵ 大阪回生病院歯科口腔外科
*⁶ 一般財団法人住友病院歯科
*⁷ 医療法人明貴会三条山口歯科医院
*⁸ 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター口腔外科
*⁹ イースマイル矯正歯科